

平成艸紙



おりおりの記

文武両道

トヨタ自動車株式会社
取締役会長

張 富士夫

先日久しぶりに出身高校を訪問したら、廊下に「文武両道」と書した額が飾ってあり、昔と変わらないなと懐かしく感じた。もう60年近くなる。あの頃は授業が終わるとすぐ近所の警察署に通い、剣道の稽古、稽古、稽古、、、本当に元気だった。先生は大柄の方で7段、来る日も来る日も打ってはぶつかり跳ね飛ばされていたが、少しずつ上達していくのが自分でもわかり面白くて仕方なかった。「文」の方はあまり自慢できないが、まじめに授業に出ていたのでそこそこの成績だったように思う。

会社に入ってから7年目に、製造現場の改善専門チームに配属された。「僕は事務屋だから機械も材料も何もわからないので無理です」と抵抗したが一切聞いてもらえなかった。毎日上司の課長に現場で見方・考え方を教えてもらったが、自分としてはまさに「稽古をつけてもらっているな」という感じだった。上司から言われる言葉は「見たか?」「やったか?」だけで、常に実践を求められた。文武両道が知識（理論）と実践に変わっていった。頭の中で理解しているつもりでも、実行してみると結果は違う。知識と実践は全く違うものだということがよくわかった。言ってみれば机上の生半可な知識を実践によって修正し、本物の知識にするということだろうか。何度失敗してもやり直している間は文句を言われなかった。

あれから数十年、剣道も現場改善も遠くなった。いまやスポーツは竹刀の素振りとゴルフだけであ

る。昨年日本体育協会の会長を拝命した。若い人からお年寄りまで「生涯スポーツ」を推進する立場である。どうやって皆さんにスポーツをお奨めするかを考え続けている。自分の体験から言っ

てスポーツは単にそれだけのものではなく、文武両道、知識と実践、という面から推奨されるべきものだという考えが強い。

会社で経営や戦略の事を考えていても、外へ出て身体を動かし一汗かくと気分はスッキリし頭も回転が早まるように感じる。また心にも余裕が出て周囲のことに気を配るようになる。何故かよくわからないが、人間というものはそのように造られているのではないだろうか。あらためて「頭と身体と心」の関係を知りたいと思う。「文武両道」を目指したり「知識と実践」のバランスを試みたりするが、その根底にはきちんとした理屈があるのではないか。先日筑波大学の授業でお話をした際、人間の頭と身体と心の関係をわかりやすく説明してくださいと、体育理論専門の先生方をお願いしておいた。そのうち説明いただけるのではないかと心待ちにしている。

